

町役場予定地に仮設住宅と隣接して商店街を再開 ～『ふるさと復興商店街』～

【 宮城県亶理町東郷地区 】

名 称 : ふるさと復興商店街
所 在 地 : 宮城県亶理郡亶理町東郷50番の一部他
種 別 : 仮設店舗・事務所、及び工場
延床面積 : 1,767㎡
入 居 者 : 小売業、飲食業等、サービス業、建設業
区 画 数 : 30区画
建物構造 : 軽量鉄骨造16棟
事業開始 : 平成23年8月31日
完 成 : 平成24年1月20日
供用開始 : 平成24年1月20日

亶理町は、当初、老朽化した町役場庁舎の移転とその他保健センター、福祉施設等の公共施設を整備するため、同町東郷地区に約12haの用地を確保し、平成25年3月にこれらの公共施設の皆移転を予定していた。

ところが、沿岸部が津波による甚大な被害を受けたため、同地区は仮設住宅（558戸）の建設用地や廃車仮置場等として活用されることとなった。

併せて、町は、同地区に仮設住宅利用者のための利便施設として、また、被災事業者の雇用の場として、飲食店・小売業・理容業等の店舗、事務所を仮設施設整備事業により整備することを計画し、中小機構に仮設施設整備を要望した。

これらの施設は平成24年1月20日に完成し、大規模商店街「ふるさと復興商店街」は、同年2月25日にオープンを果たした。

